

Unified Personal Communicator の Unity Connection サーバの設定例

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[設定](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Unity Connection が Cisco Unified Personal Communicator アプリケーション内からボイスメール メッセージを表示、再生、ソート、および削除する機能を Cisco Unified Personal Communicator ユーザに提供する仕組みについて説明します。

前提条件

要件

この設定を行う前に、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- Cisco Unity Connection のサポートされるリリースをインストールし、設定します。
- Cisco Unified Communications Manager と Cisco Unity Connection を統合します。ボイスメール ポートを設定するには、両方のサーバがインストールされ、稼働している必要があります。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco Unified Personal Communicator リリース 8.x
- Cisco Unified Presence 8.x
- Cisco Unity Connection 8.x
- Cisco Unified Communications Manager 8.x

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく

必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

設定

Internet Mail Access Protocol (IMAP) クライアントがボイス メッセージにアクセスできるようにするため、CiscoUnityConnection Administration で新しいサービス クラスまたは既存のサービス クラスを設定します。

次の手順を実行します。

1. 左側のセクションの [Class of Service] を展開し、[Class of Service] をクリックします。
2. [Search Class of Service] ウィンドウの [Search Results] テーブル内で適切なサービス クラスの表示名を選択します。
3. [Features] の下にある [Allow Users to Use Unified Client to Access Voice Mail] チェックボックスをオンにします。
4. [Licensed Features] で、[Allow Users to Access Voice Mail Using an IMAP Client and/or Single Inbox] と [Allow IMAP Users to Access Message Bodies] をオンにします。
5. [Save] をクリックします。

ユーザを設定します。

- ユーザが CiscoUnityConnection の既存のユーザの場合は、そのユーザを CiscoUnified CommunicationsManager データベースと CiscoUnifiedPresence に追加します。
- ユーザが CiscoUnified Personal Communicator の新規ユーザの場合は、そのユーザを CiscoUnified CommunicationsManager データベース、CiscoUnityConnection、および CiscoUnifiedPresence に追加します。

各 Cisco Unified Personal Communicator ユーザのボイス メールボックスを使用して CiscoUnityConnection サーバに Connection ユーザ アカウントを作成します。

注: CiscoUnityConnection のユーザ ID は、CiscoUnifiedPresence または CiscoUnified Personal Communicator のユーザ ID と一致している必要はありません。CiscoUnified Personal Communicator には独立したボイスメール ID があり、これは、アプリケーションの [Preferences] ウィンドウで設定されます。ただし、CiscoUnified Communications システム全体で同じユーザ ID を使用すると便利なことがあります。

セキュア メッセージを有効にするには、次の手順を実行します。

1. 左側のセクションの [Class of Service] を展開し、[Class of Service] をクリックします。
2. [Require Secure Messaging] ドロップダウンリストからオプションを選択し、セキュア メッセージを有効にします。

担当ユーザの身元不明発信者メッセージのセキュリティの処理方法を指定するには、次の手順を実行します。

1. 左側のセクションの [Users] を展開し、[Users] をクリックします。
2. ユーザのエイリアスを選択します。
3. [Edit]> [Message Settings] をクリックします。

4. [Message Security] の [Mark Secure] をオンにします。

CiscoUnityConnection において、適用可能なユーザ アカウントに対して Web アプリケーション パスワードが設定されていない場合は、このパスワードを指定します。

トラブルシューティング

ここでは、設定のトラブルシューティングに役立つ情報について説明します。

1. ユーザは、Cisco Unified Personal Communicator アプリケーションで、ボイスメール資格情報、つまり、ユーザ名とパスワードを入力する必要があります。
2. サーバに接続でき、ユーザ資格情報が正しいにもかかわらず、ボイスメール メッセージがダウンロードされない場合は、次の手順を実行します。ポート 7993 の設定をチェックします。CiscoUnityConnection がポート 7993 でリッスンしていることを確認します。ファイアウォールの設定を確認します。リモート コンピュータから、CiscoUnified Personal Communicator を実行しているコンピュータに Telnet を使用し、ファイアウォールに接続できることを確認します。CiscoUnified Client Services Framework 実行可能ファイル (cucsf.exe) が、適切なサーバとポートで TCP、TLS、SSL を使用して、IMAP ネットワーク接続を確立することを許可します。

関連情報

- [Cisco Unified Personal Communicator のボイスメール、会議、およびその他の機能](#)
- [Unity Server](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)